

令和5年度かわさき教師塾

☆『明日の先生日記』☆



Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

『明日、子どもたちの笑顔の前に立っている私』をイメージする学び

危ないから使わない!

でも...

- ・オンライン参加でゲーム?
- ・アイドルのライブチケット購入?
- ・端末で勉強しないの?
- ・高校の願書提出は?
- ・手続きがオンラインのみなんだけど...



12月16日(土) ICTの効果的な授業活用に向けた情報モラルやGIGAスクール構想に関する講義、実際の授業におけるGIGA端末の活用や留意点に関するグループ協議が行われました。

令和5年12月16日(土) 日程

- 10:05 様々な立場からの情報モラルについて
- 11:10 かわさき教育プランとかわさきGIGAスクール構想
- 12:00 ~昼食・休憩~
- 12:30~12:50 「教員採用試験個別相談会」
- 13:00 GIGA端末の操作と活用場面(グループ協議)
- 14:50 振り返り・事務連絡 15:00 終了



…使わないわけにはいかない…必要な手立ては?

今のうちに十分に情報モラルに関する知識を身に付けたうえで、実際に教職になった際は、端末を積極的に使っていきたいと思う。

必要に応じて適切にGIGA端末を使った活動をするために、教師自身も端末の使い方について勉強し続ける姿勢が求められると思った。



子ども同士が「つながる」ために、GIGA端末の利便性を活かして意見を共有する場面を作り、クラスが一体となるような授業を実践したいと思いました。

私も楽しくワクワクした個別的にも協働的にもできる授業づくりをしたい!

情報モラル教育では



今後起こりうる新たな危険や問題に対して、情報機器が変化しても、状況に応じて適切な判断ができるようにする必要がある

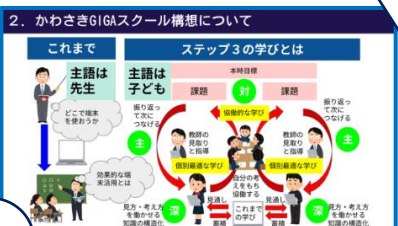
自分事として考える場面の設定を

「判断力」を育むには

紹介動画の中にあつた端末に触れたときの子どもたちの満面の笑顔。私はあの輝く笑顔をこれからもずっと大切にしていきたいと思います。



教師は、従来の教え込みではなく、学びの支援という立場で適切な支援・指導が求められると感じた。そのため、一定の指導力とともに親身になって生徒の疑問や意見に答えることが大切だと思う。



意見を共有しやすいと、意見を見られたいと思う生徒も出てくると思うので、自分の意見だから恥ずかしがらなくていいんだよと伝える心遣いも大切だと思う。



Jamboardを使った授業を実践したい。意見の共有が可視化でき、共通点のまとまりを作ったり、他の班のも見られたり、多様な機能があると思った。

一人一台端末を活用した授業を行ううえで、教職にはなぜこの場で端末を使用するのか、はっきりとした根拠づけができる能力が求められると思います。



そのためには授業計画の段階で端末の活用方法について吟味して精査する必要があります。



屋休みに、2回目の教員採用試験個別相談が行われました。大学推薦や面接試験でのポイント等に関する質問が続き、耳を傾けメモをする姿から、改めて参加者の教職への熱意を感じました。

令和6年1月・2月、川崎市教育委員会教職員人事課による川崎市の教員志望の大学生・大学院生、パーティーチャー、教員採用予定者(合格者)等に向け、4回の学校見学会(授業参観・現職教員との懇談会等)が開催されます。